

SWCCグループ

2020年3月期
決算補足説明資料



Creating for the Future

昭和電線ホールディングス（株）
（東証1部：5805）

May 15, 2020

<https://www.swcc.co.jp>



2020/3期（2019年度）決算総括

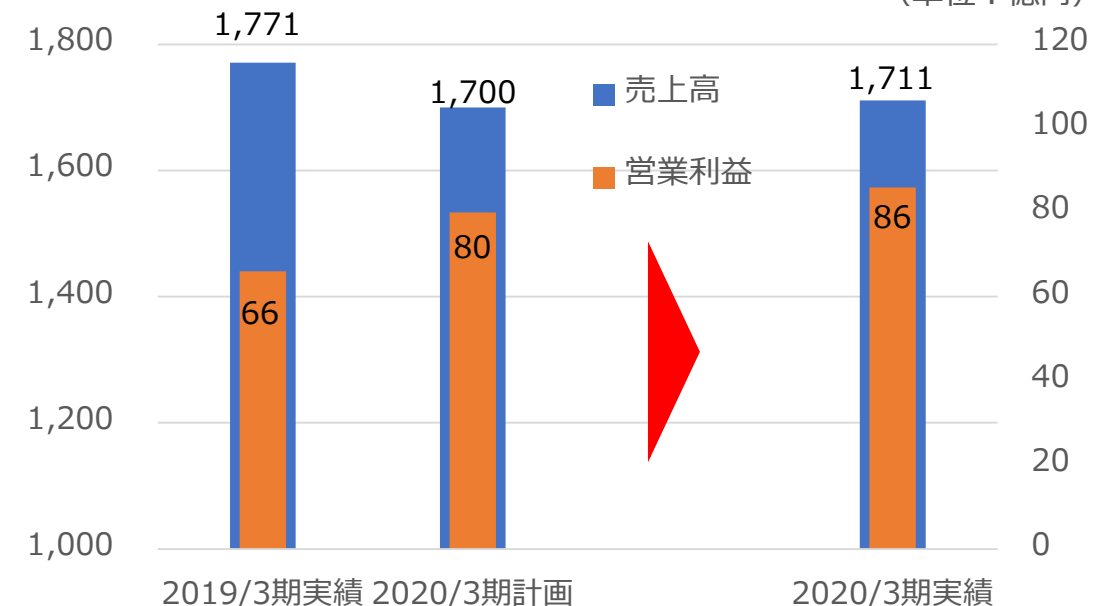
業績：業績は好調に推移、営業利益は前年度比で+29.7%増益

- ・ エネルギー・インフラ事業は、首都圏再開発需要等による建設関連向けや電力インフラの国土強靱化対策、再生可能エネルギー向け需要が引き続き堅調に推移し、増収・増益。
- ・ 通信・産業用デバイス事業は、海外の光ファイバが低調であったが、国内建設関連向けやデータセンター向け通信ケーブルが堅調で減収・増益。
- ・ 電装・コンポーネンツ事業は、高品位線材は堅調。電気機械向け等の巻線需要の低迷が継続し、減収・減益。

施策面：

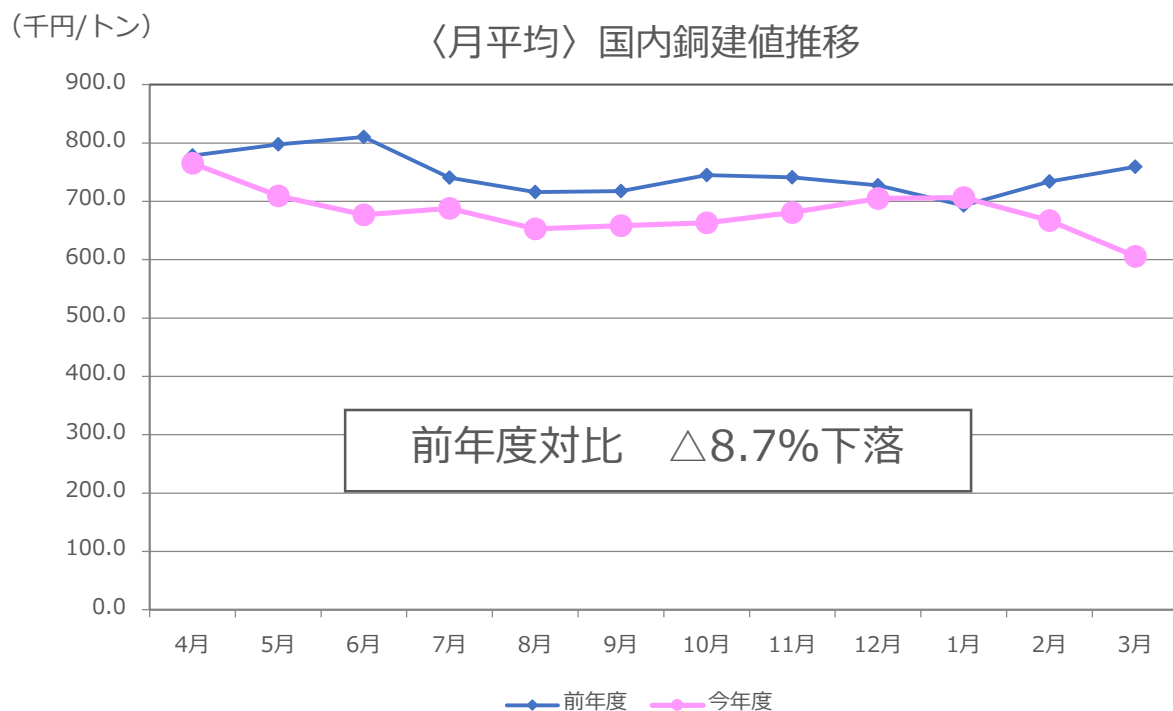
- ・ 建設・電販向けは価格適正化を目指す
- ・ 電力システム事業は新ビジネスモデルを推進
- ・ 自動車向け製品の安定供給策を推進
- ・ 業務効率改善による経費削減
- ・ 収益性向上（営業利益率UP）施策を継続
- ・ 予定配当を15円（前期7円）
- ・ 中期経営計画「Change SWCC2022」ローリング

売上/営業利益（前期、計画比較）（単位：億円）

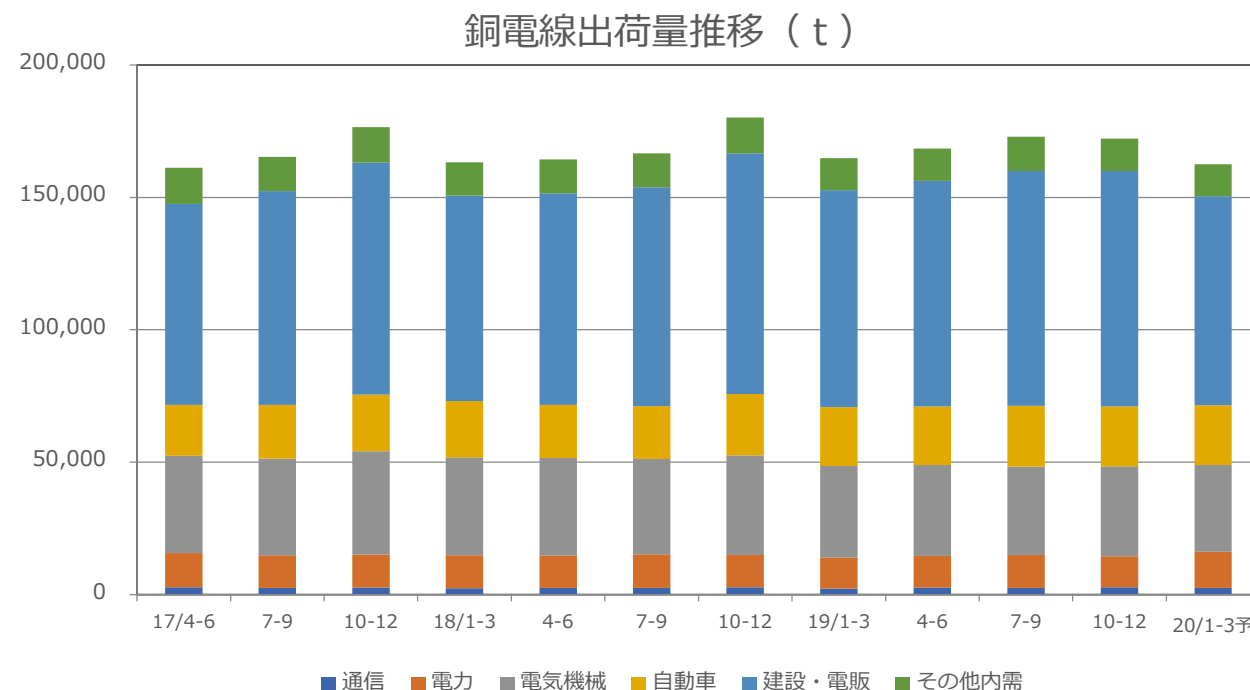


マクロ環境

- 国内銅価格（円ベース）は、第3四半期に米中貿易摩擦の緩和期待等により回復基調であったが、第4四半期に新型コロナウイルスの影響により下落基調へ転換
- 国内の銅電線出荷量は、第3四半期までは堅調だったものの、第4四半期に入って需要が減少



出所：(社団) 日本電線工業会データより



出所：(社団) 日本電線工業会データより

2020/3期：連結損益計算書（前年度比）

- 売上高は前年度比△3.4%となったが、売上総利益は前年度比+9.3%、営業利益は前年度比+29.7%の増益。

(単位：億円)

	2018年度 実績	構成 %	2019年度 実績	構成 %	前年度比 %
売上高	1,771	-	1,711	-	△3.4%
売上総利益	217	12.3%	237	13.9%	+9.3%
営業利益	66	3.8%	86	5.0%	+29.7%
経常利益	56	3.2%	78	4.6%	+40.3%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	45	2.6%	54	3.2%	+19.6%

セグメント情報（前年度比）

- 当期より新セグメント体制を導入。エネルギー・インフラ事業が売上・利益牽引。通信・産業用デバイスは減収なるも、収益性が改善し増益。

(単位：億円)

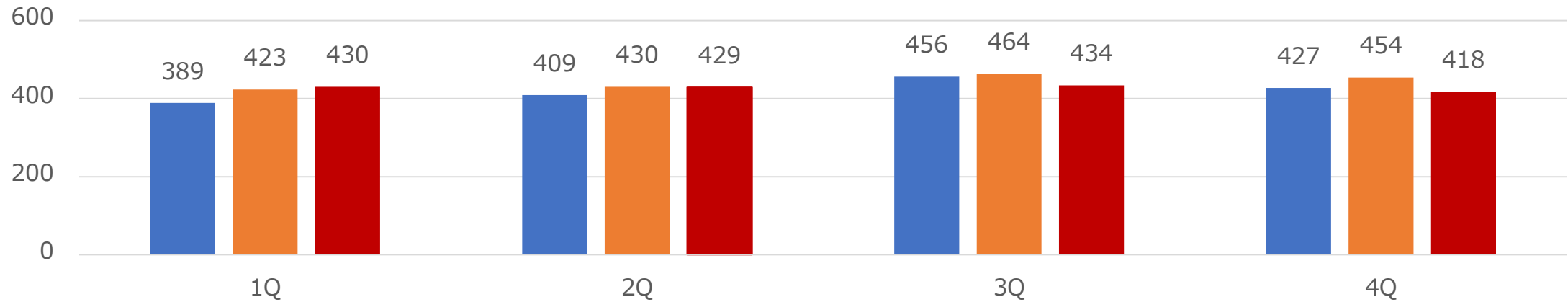
	2018年度 実績		2019年度 実績		増減	
	売上高	営業利益 (利益率%)	売上高	営業利益 (利益率%)	売上高	営業利益
エネルギー ・インフラ	867	43 (5.0%)	885	61 (6.9%)	+18	+18
通信・産業用 デバイス	327	18 (5.5%)	305	25 (8.2%)	△22	+7
電装・ コンポーネンツ	522	8 (1.6%)	471	6 (1.2%)	△51	△2
その他 (内新規事業)	55 (36)	△3 (1)	50 (35)	△6 (0)	△5	△3
合 計	1,771	66 (3.8%)	1,711	86 (5.0%)	△60	+20

四半期業績推移（売上高：過去3期比較）

(単位：億円)

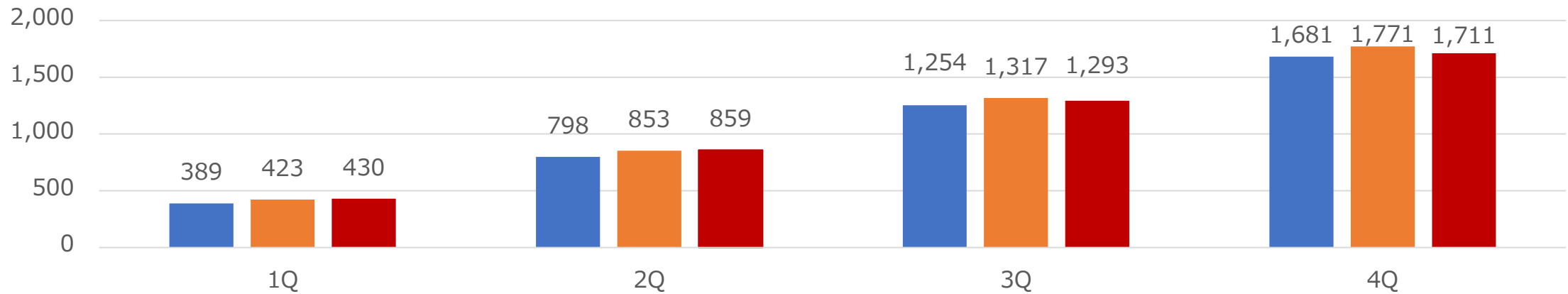
四半期毎の売上高推移

■ 2017年度 ■ 2018年度 ■ 2019年度



(単位：億円)

累計売上高推移

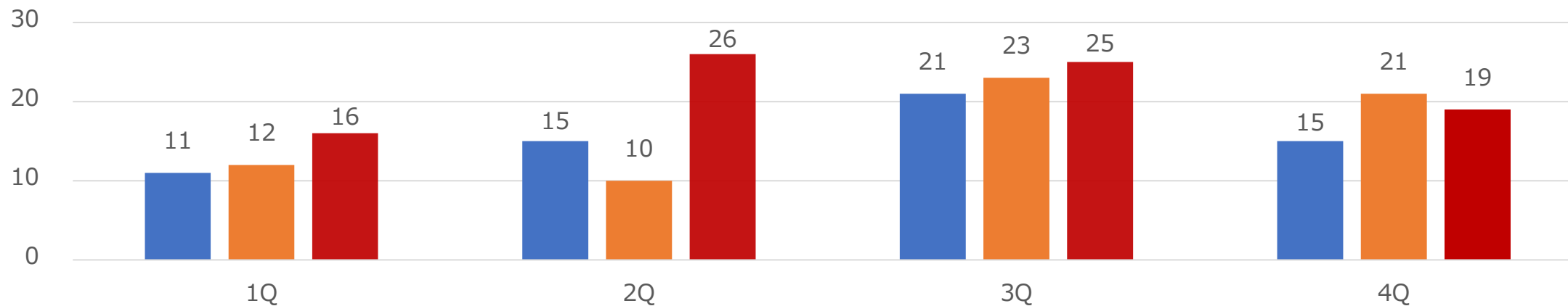


四半期業績推移（営業利益：過去3期比較）

(単位：億円)

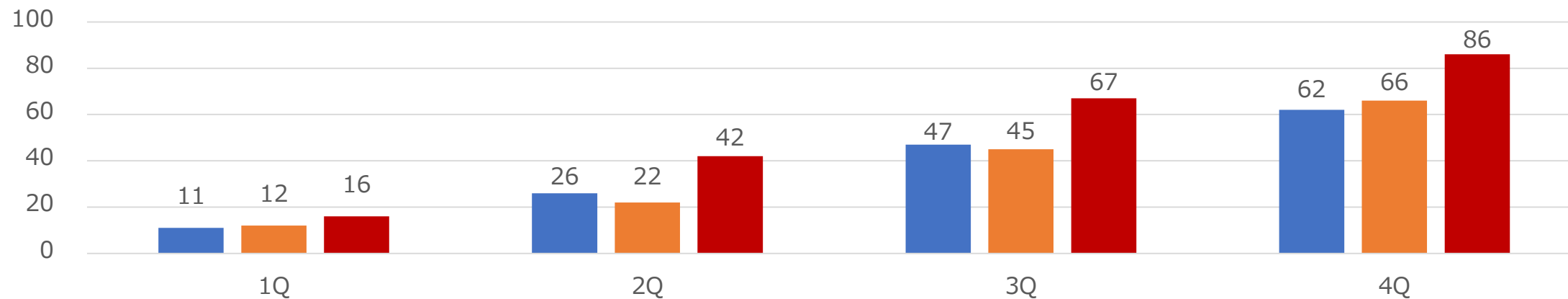
四半期毎の営業利益推移

■ 2017年度 ■ 2018年度 ■ 2019年度

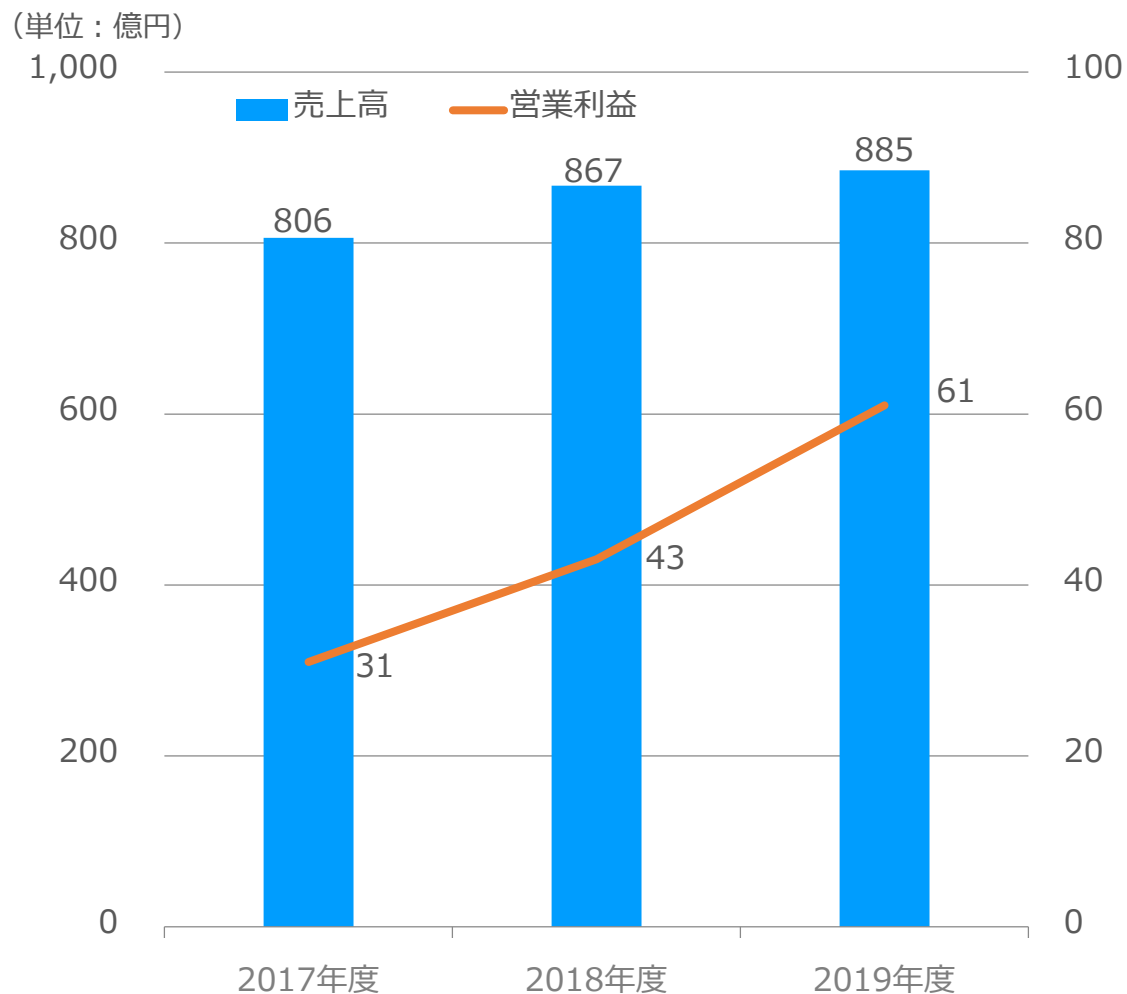


(単位：億円)

累計営業利益推移



エネルギー・インフラ事業 実績



※2017年度は当社で簡便的に試算した参考値です。

2019年度3Qより一部セグメントを見直しております。

■特徴：当社の基盤事業

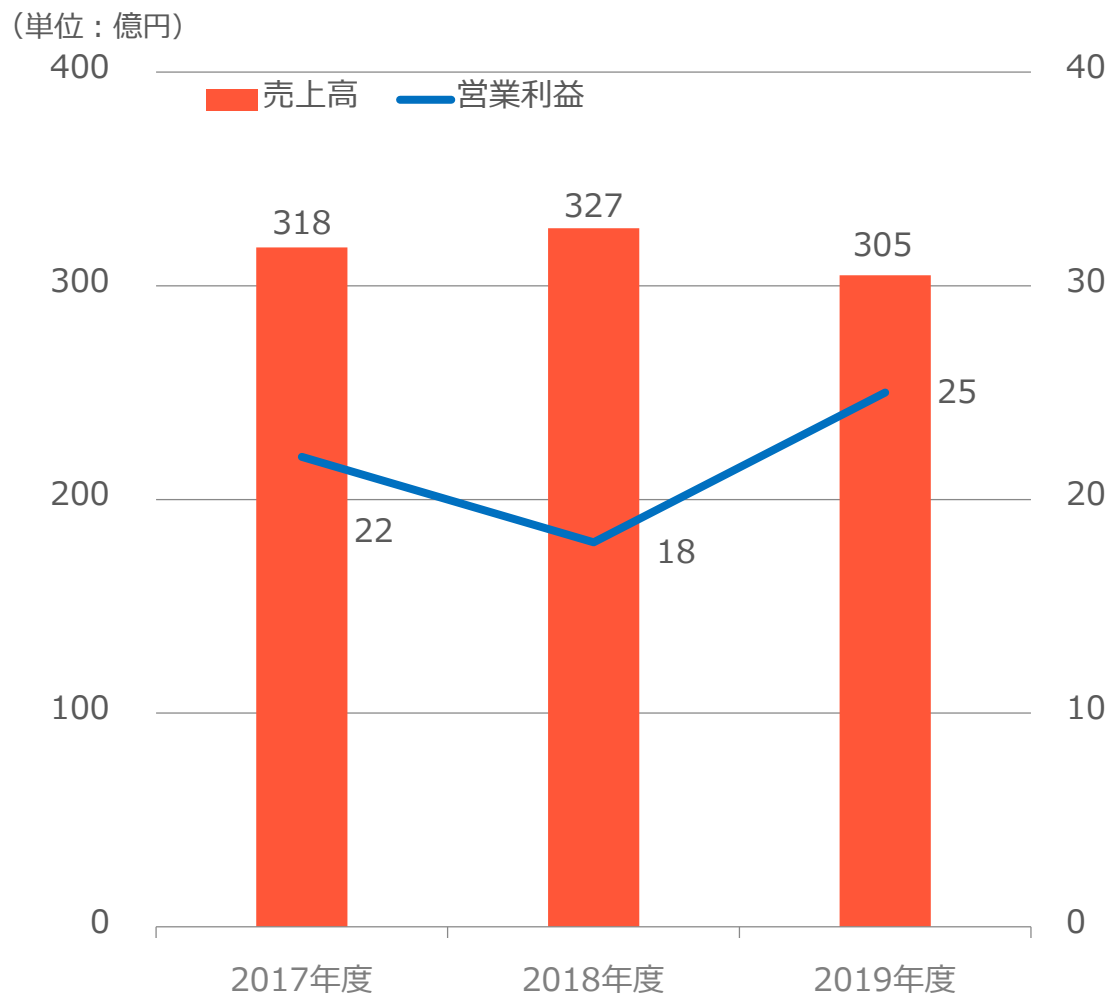
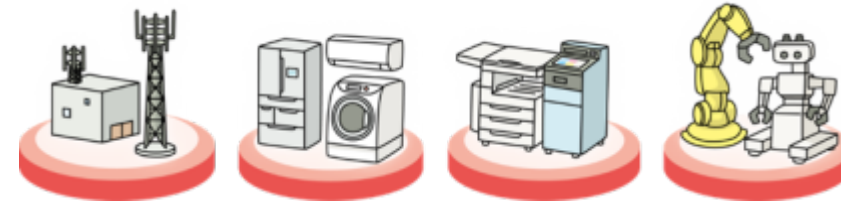
- ①発電所から家庭までを繋ぐ電力ケーブル
- ②当社独自の電力機器部品「SICONEX®」
- ③建築物に使われる電線や免震部材

■電力インフラ向けは、国土強靱化対策、再生可能エネルギー等の需要が堅調。
建設関連向けは、第3四半期において首都圏再開発等の需要がピークを迎え、第4四半期に入り減少傾向に転じた。

売上高 885億円 (前年度比 +2.1%)
営業利益 61億円 (前年度比 +42.4%)

営業利益率：6.9% (前年度5.0%)

通信・産業用デバイス事業 実績



※2017年度は当社で簡便的に試算した参考値です。

2019年度3Qより一部セグメントを見直しております。

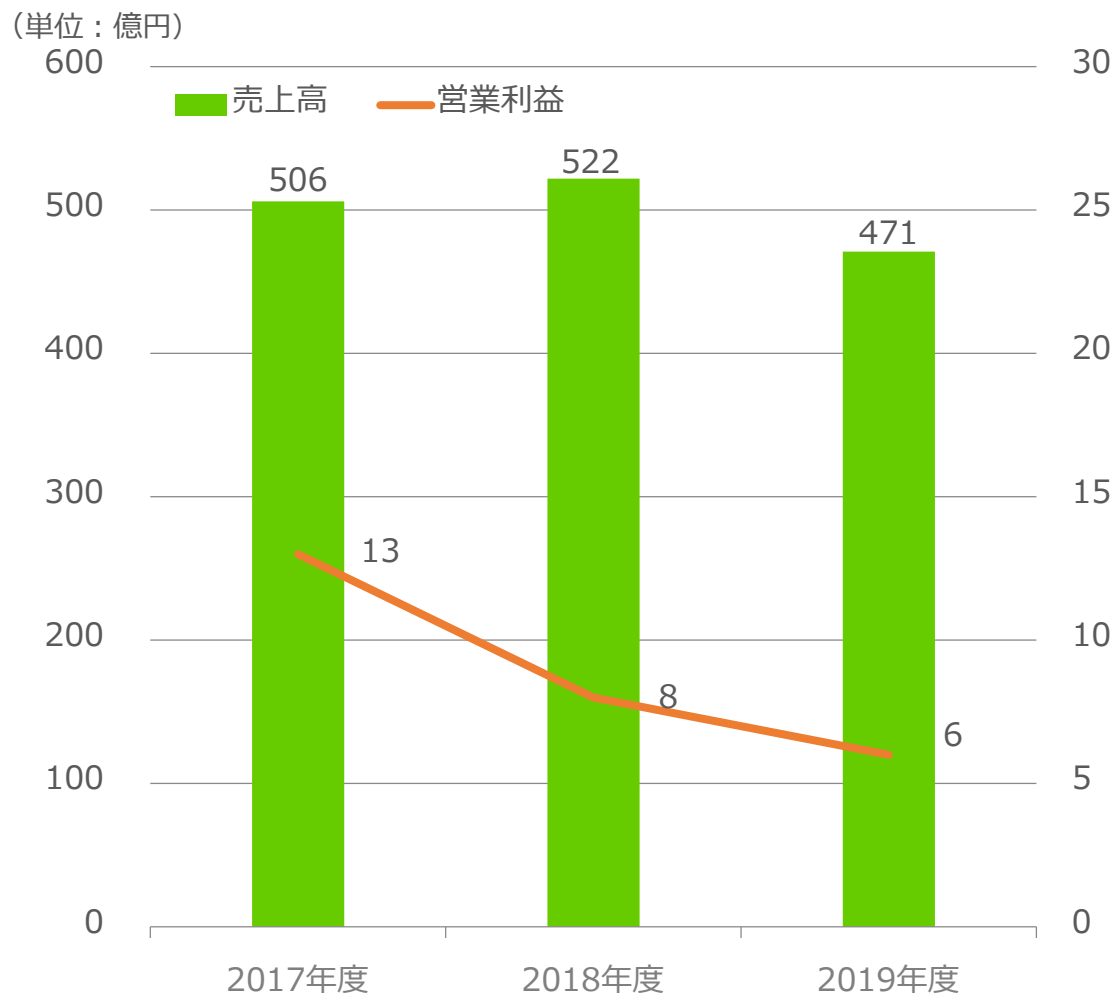
■ **特徴：通信ケーブルと産業用デバイス、事務機器用部品をグローバルに提供**

■ 国内建設関連向けやデータセンター向け通信ケーブルは堅調に推移。生産体制を国内向け製品にシフトし、収益性を改善。海外向け光ファイバは低調が継続。ワイヤハーネスはダイジ解散、海外増強の構造改革を推進中。精密デバイスは国内外の拠点再編に向け始動。

売上高 305億円 (前年度比 Δ 6.8%)
営業利益 25億円 (前年度比 +38.7%)

営業利益率：8.2% (前年度5.5%)

電装・コンポーネンツ事業 実績



※2017年度は当社で簡便的に試算した参考値です。

■ **特徴：日本で唯一のディップ・フォーミングシステムで製造した無酸素銅MiDIP®と銅合金は戦略製品**

■ 無酸素銅MiDIP®は環境配慮型自動車向け等の需要が堅調であり、高稼働が継続。
巻線は、電気機械向け等の需要が大きく低迷。
巻線事業は事業構造改革を実施し、収益率を改善。

売上高 471億円 (前年度比 Δ 9.8%)
営業利益 6億円 (前年度比 Δ 30.9%)

営業利益率：1.2% (前年度1.6%)

貸借対照表（前期末比較）

・ 自己資本比率は32.3%（前期末比4.2ポイントアップ）

（単位：億円）

	19/3/31	20/3/31	増減
現金・預金	49	43	△6
受取手形・売掛金	434	412	△22
棚卸資産	213	217	+4
その他	45	45	0
流動資産 計	741	717	△24
有形固定資産	392	399	+7
無形固定資産	12	14	+2
投資その他の資産	96	94	△2
固定資産 計	500	508	+8
資産 合計	1,241	1,225	△16

	19/3/31	20/3/31	増減
支払手形・買掛金	212	186	△26
短期借入金・社債	335	295	△40
その他	150	157	+7
流動負債 計	697	638	△59
長期借入金・社債	121	117	△4
その他	67	70	+3
固定負債 計	188	187	△1
負債 合計	885	825	△60
資本金	242	242	0
資本剰余金	55	57	+2
利益剰余金	10	62	+52
その他	49	38	△11
純資産 合計	356	400	+44
負債・純資産 合計	1,241	1,225	△16

2019年度 KPI数値

(単位：億円)

	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 予想(2/3公表)	2019年度 実績
売上高	1,681	1,771	1,700	1,711
営業利益	62	66	80	86
経常利益	48	56	73	78
親会社株主に帰属する 当期純利益	37	45	48	54
営業利益率	3.7%	3.8%	4.7%	5.0%
配当/配当性向	5円 (4.0%)	7円 (4.6%)	15円 (9.3%)	15円 (8.2%)
有利子負債	490	466	430	423
DEレシオ※	149%	134%	108%	107%
純資産	334	356	404	400
自己資本比率	26.5%	28.1%	32.5%	32.3%
ROE	12.3%	13.5%	12.8%	14.7%
ROIC	5.4%	5.6%	6.8%	7.3%

2021/3期 通期業績予想

- 2020年度業績は新型コロナウイルス禍により、1Qが底となり、2Qより徐々に回復に向かうものの、4Qまでは影響が残ると推定。需要減少を見込み、減収減益。

(単位：億円)	2019年度 実績	構成 %	2020年度 計画	構成 %
売上高	1,771	—	1,620	—
売上総利益	237	13.9%	—	—
営業利益	86	5.0%	60	3.7%
経常利益	78	4.6%	55	3.4%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	54	3.2%	40	2.5%



Creating for the Future

昭和電線ホールディングス（株）
（東証1部：5805）

お問合せ先

昭和電線ホールディングス（株）
事業戦略統括本部経営企画部
TEL：044-223-0520

<https://www.swcc.co.jp>



本説明資料に記載されている将来の業績予測値は、公表時点で入手可能な情報に基づいており、潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。

このため、実際の業績は、さまざまな要素により、記載された予測値と大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を与える要素としては、経済情勢、需要動向、原材料価格・為替の変動などが含まれます。なお、業績等に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。